

エスイー
SEEアンボンド工法

問合せ先：特エスイー 技術営業第一部 〒160 東京都新宿区西新宿6-3-1 新宿アイランド・ウィング TEL. 03-3340-5529

1. 工法の概要

SEEアンボンドケーブルは、F型定着体用のUFタイプがある。ケーブルはポリエチレンシースで被覆され、その中にグリースを充填し、防錆処理がなされており、グラウトの必要がないため、工期短縮ができ経済的となる。また、シース径が小さく、スラブ、小梁などの扁平な部材に対しての配筋設計が容易である。UFタイプは、ナット定着によりセット量がなく、緊張力の調整および再緊張が可能である。主な用途として、1) PCタンク 2) 建築スラブ、梁、小梁および耐力壁 3) アンカー 4) PC舗装道路 5) 海洋構造物等に使用されている。

● グリースの特性

グリースは、長時間にわたる防食効果と減摩効果をも有し、ある程度の低・高温でもろくなったり、流動化しないものを使用している。グリースの特性 (JIS K 2220) は、下表を参照のこと。

項目	代表性状
混和調度 60回, 25℃	273
滴点(℃)	200
銅板腐食(100℃×24時間)	合格
酸化安定度 98.9℃×100時間 kgf/cm ²	0.20

● 摩擦係数

シースとPC鋼材の間の摩擦による減少は、グリースの減摩効果により、下表の値に示すとおり。

PC鋼材の長さ1m当たりの摩擦係数	$\lambda = 0.0018 \sim 0.0035$
角変化1ラジアン当たりの摩擦係数	$\mu = 0.02 \sim 0.12$

表-1 UFタイプの仕様

呼び名	構成	基本径 (mm)	外径 (mm)	断面積 (mm ²)	グリース付着量 (gf/m)	単位質量 (kg/m)	引張荷重 P_b (kN)	降伏点荷重 P_y (kN)
UF 30	1× ϕ 17.8	17.8	21.2	191.1	55	1.53	330	279
UF 50	7× ϕ 8.1	24.3	27.7	277.1	140	2.19	500	426
UF 70	7× ϕ 9.5	28.5	31.9	383.9	185	3.04	714	608
UF100	7× ϕ 11.1	33.3	37.5	519.3	255	4.09	966	826
UF130	7× ϕ 12.7	38.1	42.3	691.0	320	5.45	1 281	1 092

2. UFタイプの仕様

マンション・ナット・アンカープレートなどの定着具の規格はF型ケーブルの定着具と同一規格である。仕様を表-1に示す。また、定着具およびケーブル断面を図-1、図-2に示す。

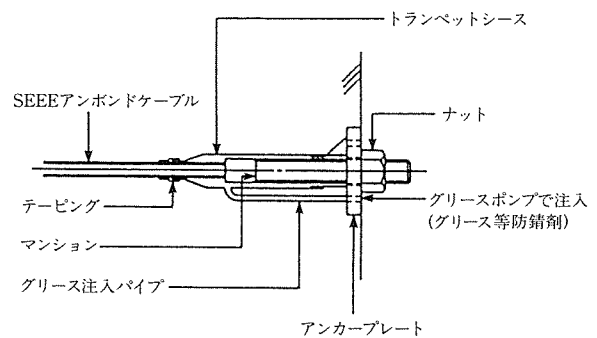


図-1 定着部

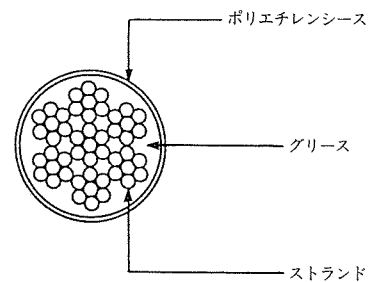


図-2 ケーブル断面